

「文字の獲得にむけての教材と学習記録・生活の流れとともに学ぶ時計の読み方について」

県立美咲養護学校  
教諭 川満 恵

## 1 教材の概要

### (1) 文字の獲得にむけての教材と学習記録について

形の判別（三角，四角，丸の分別）と図形を「描く」ことを目標に繰り返しの学習で使えるように，判別の学習用ソフト（クリックで図形を選択する）とペンシルワーク用のワークシート，それらの学習の進捗状況を記録するチェックシートのセットを利用し，文字学習の準備を行う。



図1 形の判別ソフト

評価シート，チェックシートでは，同じ教材（ワークシート含む）を繰り返し活用するのでその都度，記録・評価が取れるようにした。評価シートでは，5段階評価で生徒の学習記録を残せるようにし，それを分析しやすいように，折れ線グラフに表示できるようにした。そのことにより生徒の学習定着やワークシートの妥当性がわかる。

#### \*学習記録の記入例

毎時間の学習記録を  
評価シートへ記入

グラフ表示

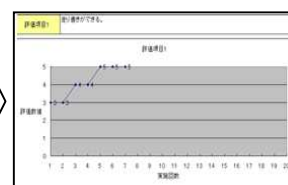


図2 チェックシート

図3 評価シート

図4 グラフ表示

### (2) 生活の流れとともに学ぶ時計の読み方

時間の感覚は，日常生活する上で不可欠である。また，社会的なルールを守る上でも大切である。時間の感覚を身につける一つに，時間が読めることがある。最初のステップとして生活の中でおよその時間を知ることがある。この教材は，「何時」を日常生活の中での行動（給食を食べる時間，歯磨きの時間，下校のバスに乗る時間）をマッチングさせる。時計盤の数字の配列や回転方向も教えることができる。



図5 時計の学習

#### \*学習例

教師…「くまさんが隠している数字は，何ですか」

\*以下，生徒が不正解の場合ヒントを与える

教師…「絵は何をしているかなあ？考えてみよう！」

教師…「歯磨きは，何時にする？」

## 2 今後の展望

- (1) 教材の活用法の工夫・改善。
- (2) 教育情報共有システムの活用。